API Gallery

API gallery™ MeetUP ～Vol.8
“Web3×金融=？”

2022.7.25 (Mon) 12:00~13:00 @Zoom

API galleryがお届けする毎月のウェビナーである“API gallery MeetUP”
API galleryの参加プロバイダーが自社ソリューション/APIに加えて、最新トレンドも語るお昼休みの1時間
第8回は“Web3×金融=？”をテーマにメタバース、NFT等のスペシャリスト達が熱く語ります。

デジタルベースキャピタル
代表パートナー
PropTech JAPAN Founder
桜井 駿 氏
【パネリスト】

CryptoGames
Planner Manager
原田 尚基 氏
【パネリスト】

NTTデータ
社会基盤ソリューション事業本部
ソーシャルイノベーション事業部 課長
長谷部 旭陽
【パネリスト】

NTTデータ
OSAイノベーションセンター
代表　青柳 雄一
【モデレータ】

© 2022 API gallery™

登壇者プロフィール

API Gallery

株式会社デジタルベースキャピタル 代表パートナー
PropTech JAPAN Founder

桜井　駿（さくらい　しゅん）

みずほ証券株式会社、株式会社NTTデータ経営研究所を経て株式会社デジタルベースキャピタルを創業。日本初となるPropTech特化型ベンチャーキャピタルを運営し、銀行、不動産会社、メガベンチャー等から資金を預かり、不動産・金融・建設など規制産業領域のスタートアップへ投資を行う。

1,400名以上が参加する不動産/建設領域のスタートアップコミュニティPropTech JAPANの設立、経済産業省 新公共サービス検討会 委員、一般社団法人Fintech協会の事務局長を歴任するなど、同領域へのエコシステム構築に携わる。

主な著書に、「決定版FinTech」(共著、東洋経済新報社)、「知識ゼロからのフィンテック入門」（幻冬舎）「超図解ブロックチェーン入門」（日本能率協会マネジメントセンター）がある。

© 2022 API gallery™

パネリストプロフィール

API Gallery

CryptoGames株式会社

Planner Manager

原田 尚基（はらだ　なおき）

＜経歴＞

ITやコンサルタント会社でマネージャー/リーダー/執行役員などのポジションを務めた後、CryptoGamesにてプランナーマネージャーを担当。

© 2022 API gallery™

登壇企業概要（CryptoGames株式会社）

API Gallery

－NFT事業を4年行っている、ブロックチェーン × エンタメ ドメインのスタートアップです。
－日本最大規模のNFTゲームを「CryptoSpells」を運営
－国内外のブロックチェーンゲーム関連事業会社と業務資本提携を実施

double jump .tokyo

animoca BRANDS

Mobile Factory

株式会社でらゲー

MYNET

MONEX GROUP

Coincheck

GameWith

© 2022 API gallery™

登壇企業ソリューション概要（NFTAirDrop）

API Gallery

－「NFTAirDrop」を活用したQRコードでのNFT無料配布によって「リアル」×「NFT」を組み合わせたイベント実施が可能です。

© 2022 API gallery™

パネリストプロフィール

株式会社NTTデータ

社会基盤ソリューション事業本部ソーシャルイノベーション事業部
デジタルソリューション統括部　サービス企画担当　課長

長谷部 旭陽（はせべ　あさし）

＜経歴＞

2008年NTTデータ入社後、官公庁向け大規模システム開発に従事。
2012年から5年間はスイス・ジュネーブに赴任し、国連機関の情報システム部門に勤務。
あわせてジュネーブ大学にて国際機関MBA修了。
2017年よりNTTデータのデジタルアーカイブ事業「AMLAD」に携わる。

© 2022 API gallery™

登壇ソリューション概要（AMLAD）

API Gallery

©Biblioteca Apostolica Vaticana.

NTTデータのデジタルアーカイブ事業「AMLAD」（https://amlad.jp/）ではこれまで、バチカン市国やASEAN諸国を初めとする世界各地の博物館・美術館・図書館などが有する文化遺産や美術品のデジタル化と、それらを検索・公開するアーカイブシステムの提供を行ってきました。

現在AMLAD事業では、こうした価値あるコンテンツのデジタルデータをより広く活用する道を作る取組みを「AMLAD Metaverse Initiative」と題し、XR技術によるデジタルコンテンツの新たな鑑賞体験の提供や、ブロックチェーン・NFTを活用した新たな保護・流通の仕組みの構築を進めています。

■講演動画：　NTTDATA Innovation Conference 2022　「進化するデジタルアーカイブ～メタバース時代のデジタルコンテンツ活用～」
https://youtu.be/GNNUgG9L0zc

AMLAD

デジタル資産の保存・管理と
利活用を実現する知的創造基盤

導入事例
DATA 01
バチカン教皇庁図書館

バチカン教皇庁図書館では、日々劣化の進む人類史上極めて貴重な歴史的手書き文献を、高精細なデジタルデータとして長期保存し、永続的な文化の継承を実現するデジタルアーカイビング事業を実施しています。NTTデータは、この人類への貢献ともいえるバチカン教皇庁図書館の取り組みに賛同し、2014年4月より本デジタルアーカイブ事業へ参画しています。

© 2022 API gallery™

モデレータプロフィール

API Gallery

株式会社NTTデータ

金融イノベーション本部　テクノロジー＆イノベーション室
OSAイノベーションセンター　部長

青柳 雄一

＜経歴＞

2000年～　九州大学文学部人間科学科卒業後、株式会社NTTデータ入社
銀行勘定系システム開発や新規金融ITサービス企画/提案に従事

2015年～　当社金融分野の経営戦略策定・実行に従事する一方で、
オープンイノベーション事業創発活動に携わり、FinTech対応を実施
某メガバンク様を始め、複数プロジェクトにてデジタル変革活動をリード
また、当社のデジタル組織立ち上げ、デジタル人財戦略策定/育成施策も実行

2018年～　大手金融機関向けデジタル組織を立ち上げ、金融機関のDX変革支援をリード

2021年～　当社金融分野のオファリング戦略/連携戦略を担うOSA推進室を立ち上げ
API galleryを起点とした金融のオープンイノベーション活動をリード

＜受賞歴＞

2020年　グッドデザイン賞受賞・ゆうちょ通帳アプリ（プロデューサー）

GOOD DESIGN AWARD 2020

© 2022 API gallery™

API Gallery

© 2022 API gallery™

Web3とは？～Web1.0とweb2.0の違い

出典：Crypto Box「【Web3カンタン図解】Web1.0、Web2.0、Web3.0の違いをわかりやすくまとめました。」

© 2022 API gallery™

Web3とは？～Web2.0とweb3.0の違い

API Gallery

出典：Crypto Box「【Web3カンタン図解】Web1.0、Web2.0、Web3.0の違いをわかりやすくまとめました。」

© 2022 API gallery™

Web3とは？～Web2.0とweb3.0の違い

API Gallery

出典：Crypto Box「【Web3カンタン図解】Web1.0、Web2.0、Web3.0の違いをわかりやすくまとめました。」

© 2022 API gallery™

Web3とは？～Web2.0とweb3.0の違い

API Gallery

出典：Crypto Box「【Web3カンタン図解】Web1.0、Web2.0、Web3.0の違いをわかりやすくまとめました。」

© 2022 API gallery™

Web3とは？～Web2.0とweb3.0の違い

API Gallery

Web 1.0

国・政府を信頼

情報の受け渡しのみ

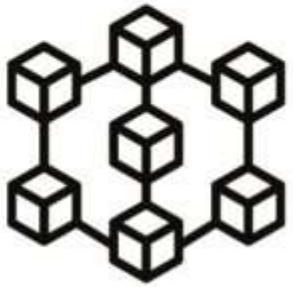
Web 2.0

大手IT企業を信頼

データの管理も可能に

Web 3.0

コードを信頼



ブロックチェーンで
検証もできるように

Crypto Box

出典：Crypto Box「【Web3カンタン図解】Web1.0、Web2.0、Web3.0の違いをわかりやすくまとめました。」

© 2022 API gallery™

API Gallery

© 2022 API gallery™

PropTechとは

Digital Base Capital

Fintechの不動産版の造語であり、不動産を含む財産全般の取り組みを指す新しいことば。

PropTech
プロップテック

＝

Property

×

Technology

- ITを活用した不動産関連サービスを個人、法人に提供
- ITを活用した効率化ツールを不動産関連事業者に提供

- 住宅
- オフィス
- 店舗
- 倉庫
- 金融

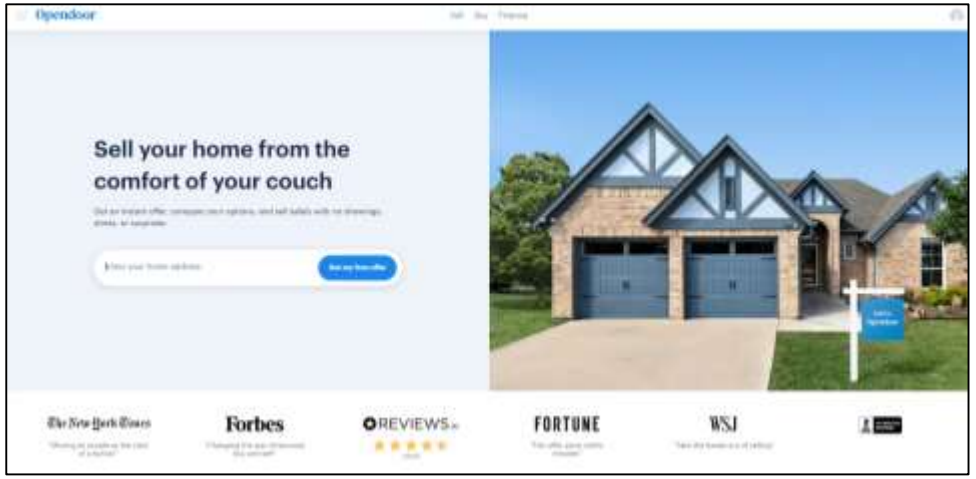
- スマホ、インターネット
- クラウド
- AI
- IoT
- VR/AR
- ブロックチェーン

不動産、建設、金融などリアル市場を対象とした新しい概念

PropTechのサービス分類

Digital Base Capital

対象		目的	サービス例
PropTech → ITを活用して不動産関連サービスを提供	個人	買う	✓ リノベーションマーケットプレース
		投資	✓ 不動産クラウドファンディング ✓ オンラインエージェント
		売る	✓ iBuyer
		資金調達	✓ デジタルレンダー ✓ オルタナティブファイナンス
	法人	借りる	✓ コーリビング ✓ オンライン賃貸 ✓ オンラインエージェント ✓ シェアオフィス
		暮らす	✓ 家具家電サブスク ✓ オンデマンドストレージ ✓ スマートロック ✓ スペースシェアリング ✓ ゴーストキッチン ✓ インシュアテック
PropTech → ITツールを不動産関連会社に提供	開発業務	管理	✓ 建設管理サービス
		査定・評価	✓ 不動産価格推計サービス ✓ 不動産価格査定サービス
	仲介業務	管理	✓ ポータルサイト、リスティングサービス ✓ 内見予約、反響管理ツール ✓ クレジットテック、家賃保証サービス
		デジタル化	✓ オンライン契約サービス ✓ ウェブ、オンライン申込サービス ✓ VR内見サービス
	管理業務	管理	✓ クラウド物件管理サービス
		委託	✓ ホーム/オフィスサービスプラットフォーム



- 2014年に米国で設立された住宅買取再販事業者
- 2020年にナスダックに上場、時価総額は1,3兆円（2021/3）
- 2020年は年間で9,913の住宅を販売、売上約2,500億円
- 2021年は3倍ほど売上が拡大し8,000億円規模に成長
- 現在の時価総額は40億ドル程度まで下落

Opendoor

ネット不動産の解禁

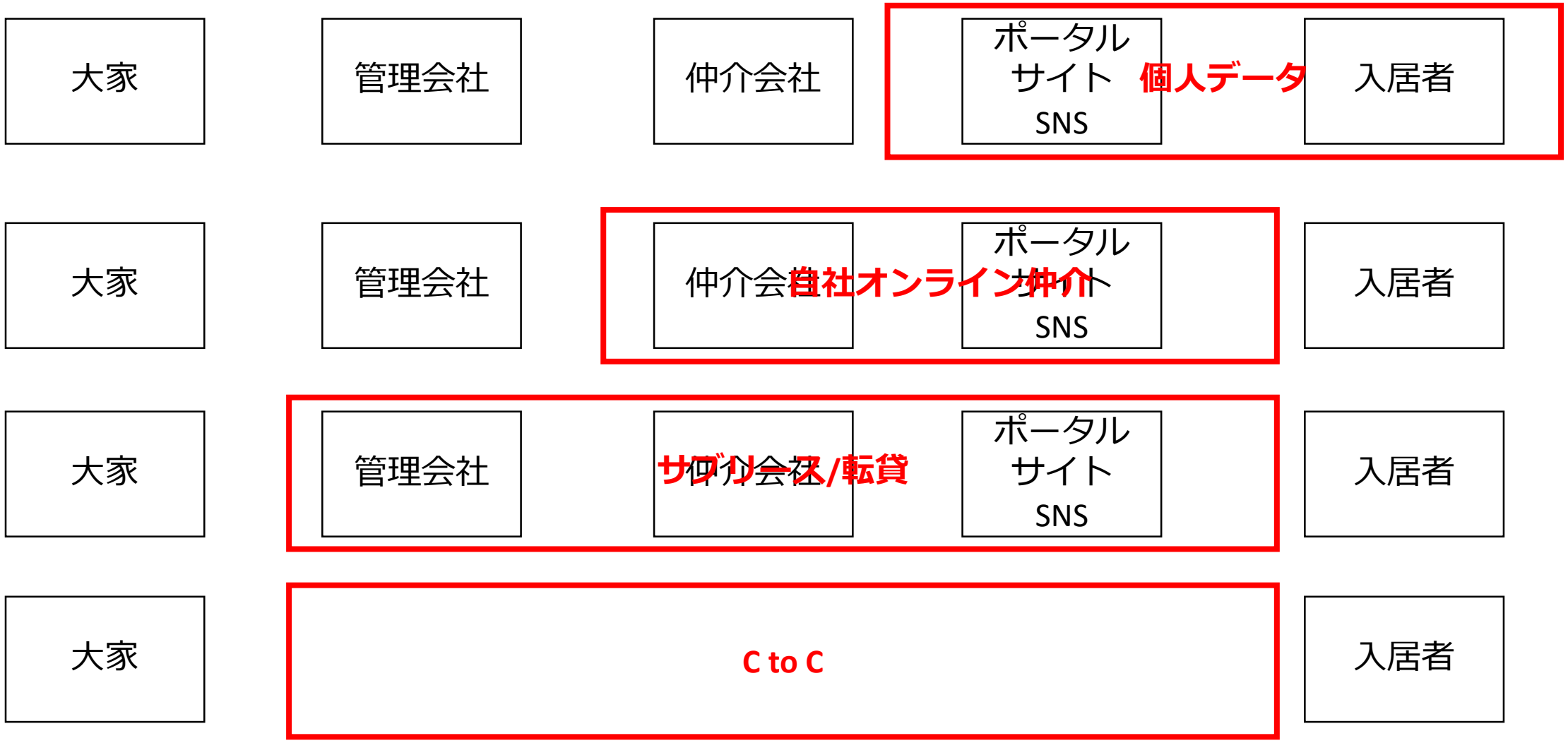
これまで規制により対面、書面での対応が必要だった不動産取引が法改正により電子化で完結。

注1)「薬剤師常駐や納税 書面・対面撤廃へ政府が工程表」日本経済新聞 2020.10.9

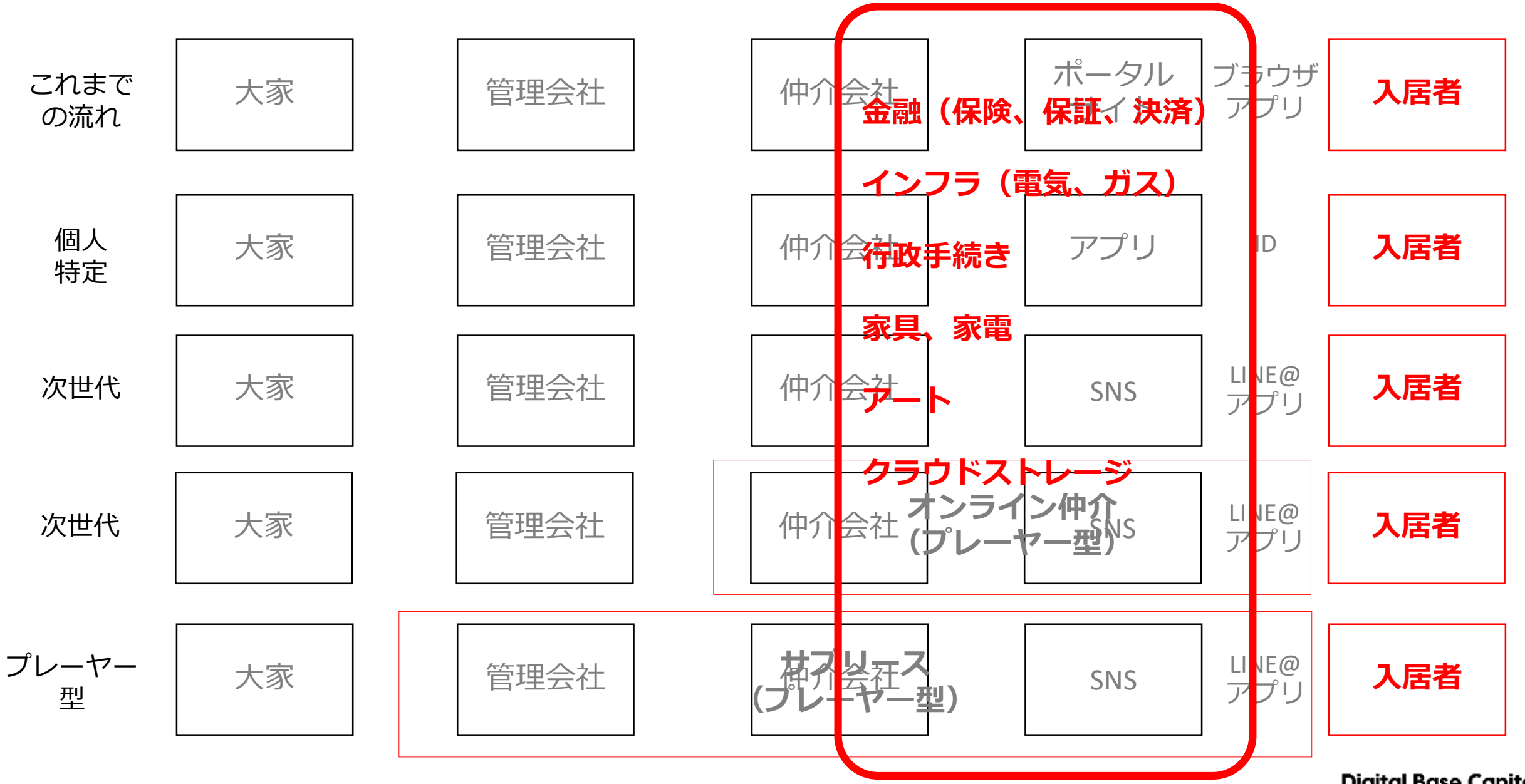
- 電子契約書は収入印紙の貼付が免除されるため売主買主共にコストメリット
- 不動産会社は、印刷や郵送の手間と費用が削減

出所：株式会社2022年10月期GA technologies決算説明資料より引用

不動産賃貸取引の変化


大家
管理会社
仲介会社
ポータル
サイト
SNS
個人データ
入居者
大家
管理会社
仲介会社
自社オンライン仲介
ポータル
サイト
SNS
入居者
大家
管理会社
仲介会社
サブリース/転貸
ポータル
サイト
SNS
入居者
大家
C to C
入居者

不動産賃貸取引の変化



Digital Base Capital

不動産賃貸取引の変化

これまでの流れ	大家	管理会社	仲介会社	ポータルサイト	ブラウザアプリ	入居者
個人特定	大家	管理会社	仲介会社	アプリ	ID	入居者
次世代	大家	管理会社	仲介会社	SNS	LINE@アプリ	入居者
次世代	大家	管理会社	仲介会社	SNS	LINE@アプリ	入居者
プレーヤー型	大家	管理会社	仲介会社	SNS	LINE@アプリ	入居者

リフォーム

空き家

シェアオフィス、シェアハウス

投資

オンライン仲介
(プレーヤー型)

サブリース
(プレーヤー型)

Digital Base Capital

不動産IDとは

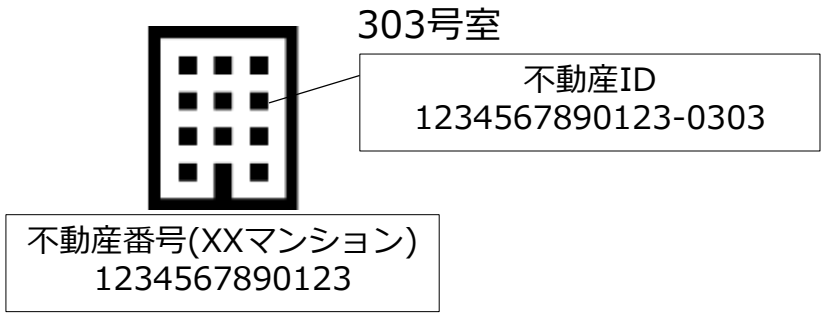
Digital Base Capital

個別の不動産を一意に特定する共通のコード（不動産ID）に関するルールがを国が主導して整備。

概要

定義	個々の不動産に与えられる固有番号
特徴	• 不動産関連情報がIDに紐づき一元管理される • 不動産を一意に特定することができる
主導	国土交通省　不動産・建設経済局
目的	不動産DXの推進
背景	住所・地番の表記ゆれにより 物件の特定が困難となっている

仕組み



ルール	不動産番号(13桁)　＋　特定コード(4桁) 不動産登記簿記載　　部屋番号、フロア番号
課題	• 不動産登記簿取得の際に生じるコスト • 紐付けるデータの提供元が多岐にわたる
展望	IDに紐付ける情報を収集するため 業界団体に対して本制度の周知を行う

出所：国土交通省　不動産IDルール検討会　中間とりまとめ資料をもとに作成

@ Digital Base Capital Co., Ltd.

不動産IDのユースケース

Digital Base Capital

これまで点在していた情報をIDに一元集約することで不動産取引における様々な活用が期待されている。

IDと紐づける情報		ユースケース	
不動産取引情報	• 所在地 • 間取り • 設備 • 取引価格	おとり物件の削除	不動産取引情報
		名寄せの効率化	不動産取引情報
不動産関連情報	• 施工者 • 設計図 • リフォーム履歴 • インフラID	インフラ情報共有の効率化	不動産関連情報（インフラID）
		リフォーム履歴の把握	不動産関連情報（リフォーム履歴）
エリア情報	• 地図情報 • 都市計画情報 • ハザードマップ	重要事項説明書の作成負担軽減	エリア情報（都市計画・ハザードマップ等）
		新たなサービスの創出	エリア情報　×　技術（AI査定など）

出所：国土交通省　不動産IDルール検討会　中間とりまとめ資料をもとに作成

@ Digital Base Capital Co., Ltd.

Project PLATEAU（プラトー）とは

Digital Base Capital

プラトーとは、国土交通省が進める 3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のプロジェクトである。

概要

内容	• 2020年4月からスタート • 日本全国３D都市モデルの整備、活用、オープンデータ化 • 全国56都市を整備、オープンデータ化してユースケース開発を行っている
目的	都市計画、防災、まちづくり等「まちづくりのDX」への活用
経緯	• 2017年経団連により3D都市データベース「バーチャル・ジャパン」官民協働の提案がきっかけ • 2018年から国交省で検討、2020年4月スタート
参考事例	バーチャルシンガポール • シンガポール全土を3D都市モデルとして再現。防災や環境シミュレーション、エネルギーインフラ管理に活用 • 約60億円を投資して2018年に完成 • 技術面ではデータ更新をどう実施していくか、運営面ではユースケースの実装が課題 • 実運用ステージへの移行に向けて課題も多く、一般公開も現時点では見通しはたっていない

使われる情報・技術

情報	インプット • 都市計画基本図、航空測量、都市計画基礎調査情報で構成 • 今後は地方自治体、民間企業、研究機関（大学）など各市場のプレイヤーがデータの作成や活用を行うことを期待。 アウトプット • 社会インフラの計画立案や設計改善 • 太陽光発電パネルの設置場所の最適化 • 交通シミュレーション
技術	■デジタルツイン リアル空間にある情報をIoTなどで集め、サイバー空間でリアル空間を再現する技術。実際の都市を想定した、精度の高いシュミレーションにより、コスト削減やリードタイムが短縮可能。 ■セマンティクモデル セマンティクス（壁、屋根のような地物定義や、用途、築年などの属性情報）によりフィジカル空間とサイバー空間の高度の融合が可能となり、都市計画立案への活用や、都市活動のシミュレーション、分析が可能となる。

出所：バーチャルシンガポール情報はシンガポール土地管理局へのインタビューを一部引用

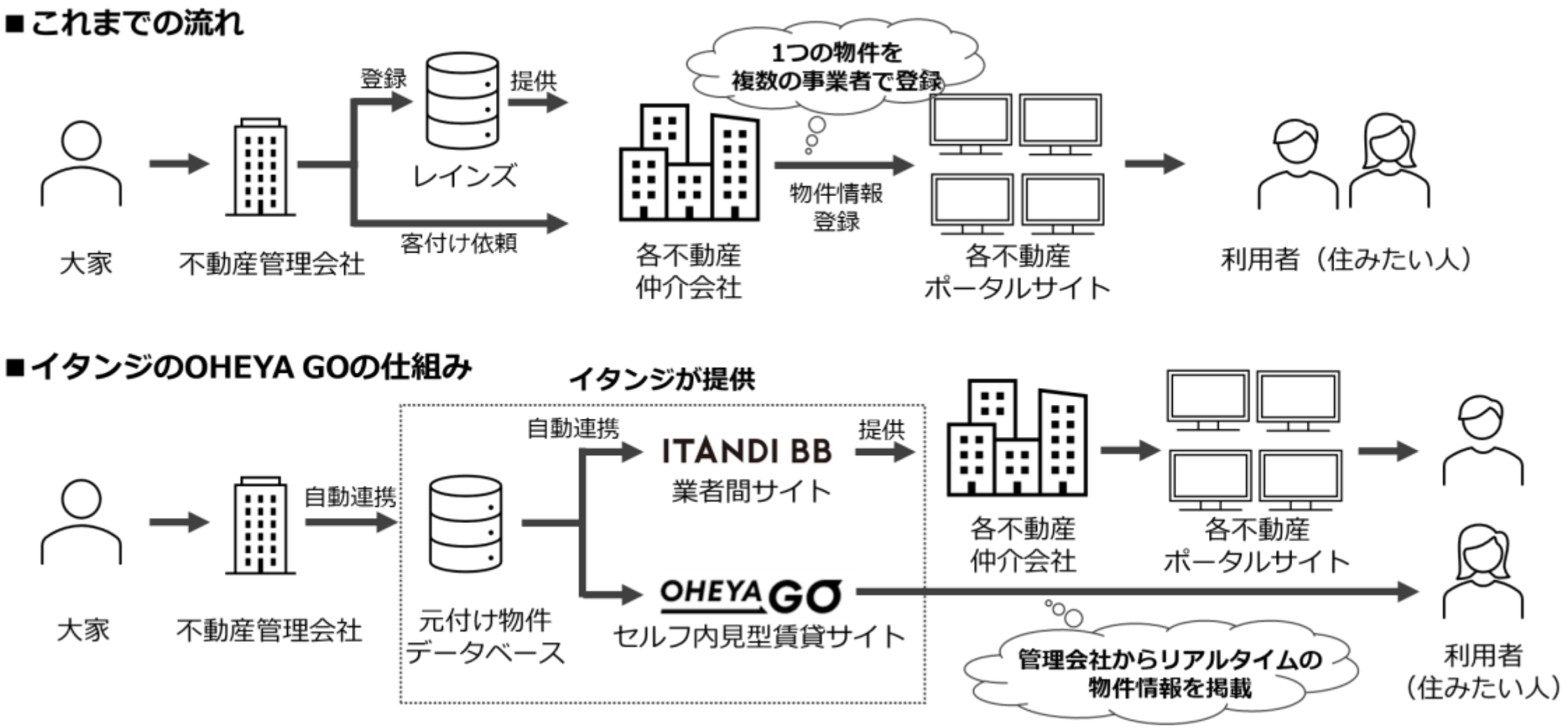
オープンデータとして公開

Digital Base Capital

2021年8月に全国56都市の3D都市モデルのオープンデータ化が完了しており、G空間情報センターにて公開中。
オープンデータとして誰でも、商用利用、二次利用、二次加工が可能である。

イタンジ「OHEYA GO」のビジネスモデル

Digital Base Capital



Web3とは

Digital Base Capital

トークン（仮想通貨）を中心としたデジタル経済圏の活発化によって、2021年頃から国内外で急速に盛り上がりを見せている。

概要

定義	インターネットの「進化」における 次の段階を指す概念
きっかけ	Gavin Wood氏(イーサリアム共同創設者)によって、2014年にブログで提唱された言葉だが、実際に大きく注目されて、広く浸透したのは2021年からである
目的	分散型ネットワークを用いた ・技術的安全性の確保 ・個人情報の自己管理 ・個人主体の取引増加
背景	強大なプラットフォーマーに個人情報や収益が集中しており、プライバシーやセキュリティに関して問題となっている

特徴

Web1 1995年 – 2005年	・利用者は情報を一方的に受け取る ・テキスト、静止画像が中心 ・例）ホームページ
Web2 2005年 -	・利用者は情報を受け取り・発信する ・音声や映像が中心 ・例）TwitterやFacebookなどのSNS
Web3 2021年 -	・利用者は情報を受け取り・発信する ・プラットフォームを介さない →個人間で直接取引する →情報・権力が個人に分散

Web3関連トレンド

Digital Base Capital

	メタバース	STO Security Token Offering	NFT Non-Fungible Token	DeFi Decentralized Finance
定義	コミュニケーションが 可能な3次元の仮想空間	Security Token(デジタル証券)の 発行によって資金を調達する	非代替性トークン	中央管理者のいない 金融仲介サービス
内容	仮想空間の中でアイテムや土地を 売買したり、イベントを開催した り、ゲームで遊んだりできる	所有権を小口化することができ より多くの資金調達が望める	自身のアート作品に対して 唯一無二の保証があるため 手軽に譲渡・販売できる	仲介者がいないことで サービス利用時の手数料を 低く抑えることができる
歴史	SECOND LIFE メタバースゲーム（2003年）	BLOCKCHAIN CAPITAL 米国発VC（2017年）	CryptoKitties NFTゲーム（2017年）	Bancor EtherDelta 分散型取引所(2017年)
代表的事例	THE SANDBOX ゲームプラットフォーム 月間ユーザー数100万人以上	LIFULL SECURITIZE 不動産STOプラットフォーム を提供	jack @jack just setting up my twttr Jack Dorsey の初ツイートNFTが 2021年3月、Valuablesで約3億円で落札	UNISWAP 分散型取引所 1,500種類以上の仮想通貨

メタバース上における不動産取引

Digital Base Capital

調査会社MetaMetric Solutionsによると、2021年における４大メタバースを含むバーチャル空間上での不動産取引は5億ドルを突破。

The Sandbox

運営会社	Animoca Brands（中国）
設立年	2014年
歴史	ゲーム開発会社Pixwol社(2011年設立)が開発し 2018年にAnimoca Brandsに事業売却する
特徴	・ピクセルチックな3Dモデル ・仮想通貨「SAND」 ・166,464区画の土地 ・ブロックチェーンはイーサリアム

Decentraland

運営会社	Decentraland Foundation（米国）
設立年	2015年
歴史	2015年に2Dプラットフォームとして開発され 後にVRやブロックチェーン技術を導入してきた
特徴	・ポリゴンチックな3Dモデル ・仮想通貨「MANA」 ・90,601区画の土地 ・ブロックチェーンはイーサリアム

The Sandboxにおける土地活用事例

Digital Base Capital

プロジェクト	Fantasy Island Republic Realm社 720区画のLANDを総額430万ドルで購入した
概要	• 144LAND(区画)の土地をまとめて購入 • 100個の土地の上にそれぞれ別荘を建てる • 土地と建物の所有権を合わせたNFTを販売
特徴	• 購入者限定のコミュニティ • NFTアイテムも併せて販売 • 購入した土地・建物のデザインはランダムでミントされる
価格	• 当初は100LAND、一律15,000ドルで販売し、24時間以内に完売 • 現在の二次流通市場のOpenSeaやThe Sandboxにて 300,000ドルまで値上りしたLANDもある

The Sandbox上の土地（島）に別荘が開発された様子

The Sandbox上のマップ

出所：Fantasy Island のHP（上）/ The Sandbox のHP （下）より画像引用

@ Digital Base Capital Co., Ltd.

DeFiの事例

プロジェクト	Starlay Finance
金融機能	貸付（lending）
ブロックチェーン	Aster Network
サービス開始	2022年2月
ガバナンス トークン	LAY（レイ）
特徴	• Aster Networkの流動性創出を掲げる • 預け入れ額は約4,100万ドル、借入額は約2,000万ドル(2022年6月9日時点) • DAIやASTR、SDNなど11銘柄に対応 • 2022年4月11日には累計貸付額が640億円(5億ドル)を突破

Starlay Financeにおける取引

Digital Base Capital

預け入れ

Deposit Markets

Asset	Reward APR	APY	Deposited	Collateral
ASTR	1.00%	1.80%	-	-
DOT	12.07%	28.21%	-	-
DAI	1.37%	2.05%	-	-

借り入れ

Borrow Markets

Asset	Reward APR	APY	Borrowed
ASTR	6.15%	6.06%	-
DOT	36.70%	49.91%	-
DAI	4.48%	3.22%	-

Reward APR	報酬として、ガバナンストークンLAYで支払われる
APY	取引したトークン（仮想通貨）で支払われる

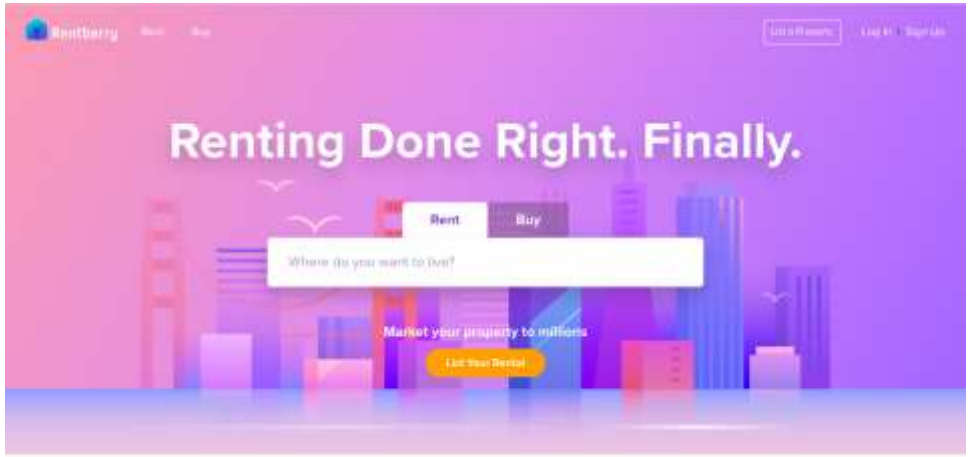
出所：Starlay Finance のHPより画像引用

@ Digital Base Capital Co., Ltd.

Rentberry – 賃借人と賃貸人を直接マッチングするプラットフォーム -

Rentberry

企業概要



会社名	Rentberry, Inc.
設立年	2015年
本社	アメリカ　サンフランシスコ
資金調達	• ベンチャーラウンド 非公開（2020年5月29日） • 累計調達額 $8.8M

ビジネスモデル

想定顧客	• 不動産を購入、賃借したい個人
想定課題	• 不動産の価格は周辺相場やエージェントの属人的な判断によって決定されてきた
ソリューション	• 物件の検索、審査、契約、支払い、管理等の全てのプロセスをオンラインで完結 • 過去の取引を基にデータを可視化
マネタイズ	• 売買及び賃貸借の取引が成立した際に手数料を徴収すると推測される
特徴	• ブロックチェーンの技術を賃貸に応用することで不動産の情報を透明化 • 4,948都市22万件を超える物件を、同社プラットフォーム上に保有 • ユーザー数12万人超え • 不動産取引の全てのプロセスをオンラインで完結 • 物件所有者と賃借人を直接マッチングすることによって仲介手数料を削減

Propy – ブロックチェーンを用いた不動産取引プラットフォーム -

PROPY

企業概要

会社名	Propy Inc.
設立年	2016年
本社	アメリカ　サンフランシスコ
資金調達	• ベンチャーラウンド $1.2M（2020年10月2日） • 累計調達額 $16.7M

ビジネスモデル

想定顧客	• 不動産エージェント、仲介会社、不動産関連企業 • 不動産を購入する個人と法人
想定課題	• 不動産の取引は手続きが煩雑化、長期化しやすい • 国際的な不動産取引は複数の仲介業者とやりとりを実施する必要がある
ソリューション	• ブロックチェーンのスマートコントラクトを用いることで様々な仲介手数料を無くし、世界中の登記所と連携することにより、不動産取引を効率化
マネタイズ	• 購入された不動産の最終購入価格の数%の手数料を徴収
特徴	• 複数のスマートコントラクトが相互作用することによって不動産の情報の記録や更新などが行われる • 2017年10月にウクライナ政府と連携することで、世界初のブロックチェーンを用いた不動産取引が実施された • 同社プラットフォームを用いることで、1取引当たり10時間を削減 • 特に複数の仲介業者が絡む国際的な不動産取引において同社プラットフォームで利用される

まとめ

- 海外ではブロックチェーン、NFTを不動産取引に実装している例がすでに出現
- 実物不動産とは非連続なバーチャル不動産、メタバース上の取引は今後も拡大が期待される
- トークン発行を実施しているプロジェクトはいまだ流動性が高いわけではないが、リアルアセット（不動産）とデジタルエコノミーの橋渡し、接点は確立されつつある
- 不動産取引に付随する保険、融資、保証、ファンド（REIT）などの派生的な金融商品、DeFiの台頭が今後予想される

@ Digital Base Capital Co., Ltd.

Digital Base Capital

NFTAirDropを活用した地方活性化への取り組み

CryptoGames

会社概要

CryptoGames

会社紹介

- NFT事業を4年行っている、ブロックチェーン × エンタメ ドメインのスタートアップです。
- 日本最大規模のNFTゲームを「CryptoSpells」を運営
- 国内外のブロックチェーンゲーム関連事業会社と業務資本提携を実施

double jump .tokyo

animoca BRANDS

Mobile Factory

株式会社でらゲー

MYNET

MONEX GROUP

Coincheck

GameWith

CryptoGames

代表紹介

代表取締役 小澤 孝太
Twitter：
@kotaozawa

- 2014年 慶應義塾大学経済学部卒業。株式会社サイバーエージェント新卒入社。複数のゲーム関連事業を立ち上げ。2016年にCA36に抜擢。

- 2018年 CryptoGames株式会社を設立。
- 2019年6月「クリプトスペルズ」リリース正式リリース。2週間のクラウドセール売上は900eth（当時3000万円）を突破し国内最高記録となりました。

- 2020年 ブロックチェーンゲーム開発会社 ダブルジャンプトーキョーの社外取締役を兼任。ブロックチェーンコンテンツ協会理事。 ビジネスモデル特許を2件取得。
- 2021年　ダブルジャンプトーキョーを退任し、MCH Inc.取締役兼任

NFTAirDropを活用した地方活性化への取り組み

CryptoGames

NFT無料配布：「リアル」×「NFT」の融合による新体験の創出

「NFTAirDrop」を活用したQRコードでのNFT無料配布によって「リアル」×「NFT」を組み合わせたイベント実施が可能。

事例：NFTAirDrop：三重県・明和町「竹神社」での取り組み

1回目

CryptoGamesと明和観光商社が、地域資源を活用した観光地魅力創造活動として、竹神社の御朱印NFTの無料配布を実施

～博報堂がNFTの企画、デザイン制作を支援～

CryptoGames株式会社

2022年3月16日 10時00分

ブロックチェーンゲーム、NFTサービスの開発を行う、CryptoGames株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：小澤 孝太）は、三重県で地方創生の取り組みをしている一般社団法人明和観光商社（本社：三重県多気郡、代表者：千田 良仁、以下「明和観光商社」）と共に、竹神社（三重県明和町）の御朱印をモチーフとしたNFTを、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下「博報堂」）より企画、デザイン制作協力を受け、地方活性化施策の一環として、3月18日(木)に無料配布実施することをお知らせいたします。

2回目

CryptoGamesと明和観光商社が竹神社の御朱印NFTの2回目の無料配布を実施。NFTを活用した地方創生・地域活性化に向けて

～前回に引き続き、博報堂がNFTの企画、デザイン制作を支援～

CryptoGames株式会社

2022年4月14日 11時40分

ブロックチェーンゲーム、NFTサービスの開発を行う、CryptoGames株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：小澤 孝太）は、三重県で地方創生の取り組みをしている一般社団法人明和観光商社（本社：三重県多気郡、代表者：千田 良仁、以下「明和観光商社」）と共に、竹神社（三重県明和町）の御朱印をモチーフとしたNFTを、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下「博報堂」）より企画、デザイン制作協力を受け、地方活性化施策の一環として、4月17日(日)に10種類のNFTの無料配布を実施することをお知らせいたします。

事例：NFTAirDrop：三重県・明和町「竹神社」での取り組み

議員の来訪

三重県CDOの来訪

CryptoGames

事例：NFTAirDrop：ウォレット作成までの手順

ウォレットをもっていない方も、SNSアカウントにてログイン(裏でウォレットを自動生成)

CryptoGames

竹神社での御朱印NFTのAirDropからの、展開可能性案

新たな価値の創出によるプロモーション機会と集客・リピート

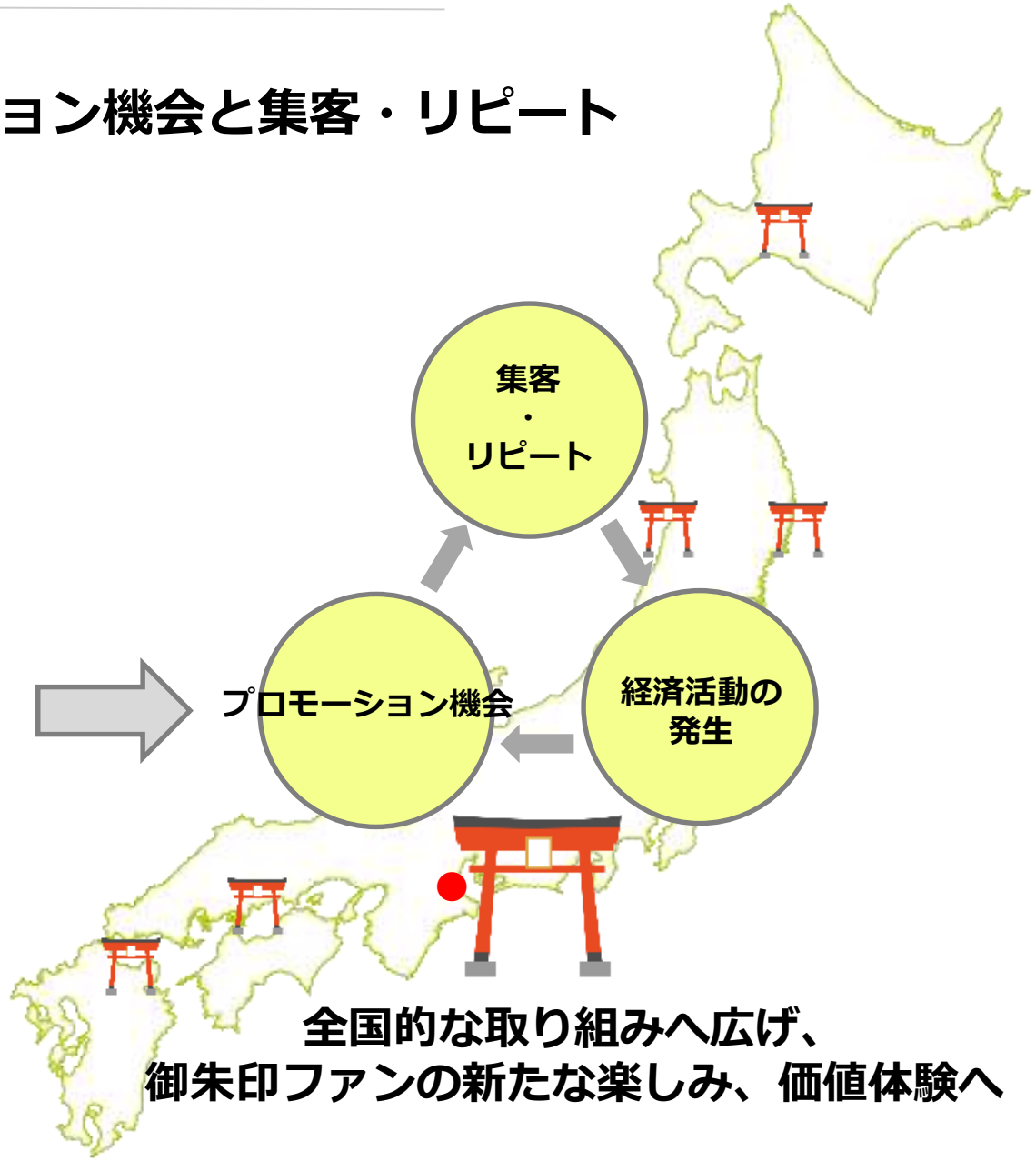
既存の価値

紙

＋

新たな価値

デジタル
(色や動き)



全国的な取り組みへ広げ、
御朱印ファンの新たな楽しみ、価値体験へ

CryptoGames

実施可能なイベント案：NFTを活用したスタンプラリー企画

人気スポットにQRコードを設置し、無料配布を実施。NFTを全種類集めた人には限定のNFTを配布や購入可とする。

斎宮歴史博物館

4.0 ★★★★☆ (339)

博物館、発掘調査、史跡、歴史

斎宮跡

4.0 ★★★★☆ (38)

史跡、発掘調査、古代、博物館、宮殿

竹神社

4.1 ★★★★☆ (119)

ムーンビーチ

4.3 ★★★★☆ (39)

砂浜、キャンプ

いつきのみや歴史体験館

4.0 ★★★★☆ (165)

博物館、歴史、史跡

さいくう平安の杜

3.8 ★★★★☆ (76)

史跡、歴史、公園

NFT無料配布サービス「NFTAirDrop」料金について

40万円/回～から実施可能。

【内容/料金】

・基本サービス
NFTStudioを介したQRコードでのNFTの無料受取
TorusWallet メールアドレスでのウォレット開設
ウォレット開設等現地でのサポート体制

・その他（要相談）
国内外におけるプロモーション支援

・対応可能なブロックチェーン
Polygon

・料金
40万円/回～　※ガス代、他は別途見積

※SNSを活用した無料配布も対応可能
https://twitter.com/crypto_spells/status/1443772873869598726

CryptoGames

イベント当日のフォロー体制/実施後のコンサルティング

イベント時は、現地でのサポートを行います。はじめてウォレットを開設する方へのご案内など円滑な運営に向けたフォロー体制を構築。

appendix

『CryptoSpells』のご紹介

- ブロックチェーン上にNFTを発行することで、デジタルでも自由に売買できるカードゲーム。
- 高額なカードはゲー ム内外のCtoC マーケットで50万円以上で取引されております。
- 2019年6月にリリースし、初月で900ETH（当時約3000万円）の売上。
- 2020年6月に初の地上波テレビCMを実施。累計売上は4000ETH以上（現在価格20億円）。
- ゲームに特化したブロックチェーン「Oasys」に対応。

CryptoGames

『CryptoSpells』のご紹介

ガバナンストークン『$TCGC』ご紹介

- 『CryptoSpells』のガバナンストークン『$TCGC』はシンガポール法人が発行し、15%のアロケーションを受けています。FT発行は提携先のBOBG社でも対応可能です。

『TCGVerse』ご紹介

- ゲームに特化したブロックチェーン「Oasys」のL2として、カードゲームに特化したブロックチェーンを開発・運用中。クリプトスペルズは対応済み

ゲーム特化ブロックチェーン『Oasys』ご紹介

- ユーザーはガス代無料で利用可能
- セガ、バンダイナムコ、gumi、doublejump.tokyoなど著名ゲームメーカーが参画
- CryptoGamesもチェーン開発、バリデーターとして参加

CryptoGames

Gamefi『AstarFarm』のご紹介

- ASTARをステーキングすることで作物を育成する、ファーミング型のGamefi「AstarFarm」をASTAR上で運営

他社サポート事例『元素騎士Online』ご紹介

- 現在βテストを実施しており、時価総額が約4,000億円に到達するなど注目されているNFTゲームです
- 『元素騎士Online』のトークン、FT、ブロックチェーン部分の開発を担当

現在開発中の案件『アニメバンク』

- アニメスタジオを支援することでステーキング報酬と限定アニメNFTがもらえるgamefiサービス
- ブロックチェーン、トークン、NFT部分の開発を担当

CONFIDENTIAL

（株）NTTデータ

AMLAD Metaverse Initiative
取組紹介資料

AMLAD

July 25 2022
NTT DATA Corporation

Agenda

1. デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」のこれまで

2. AMLAD Metaverse Initiative
    - AMLAD × XR
    - AMLAD × NFT

1.デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」のこれまで

1. デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」のこれまで

AMLAD

「AMLAD®」はこれまで世界各地で様々なデジタルアーカイブ事業を展開してきました。
貴重なコンテンツのデジタル化、及び、それらのデジタルデータの保全と公開、そして、それらを有効利用させるための様々な検索機能や外部連携機能を提供します。

国立国会図書館

400万点超のコンテンツを扱う国内最大級のデジタルアーカイブ。

Copyright © National Diet Library

DigiVatLib (バチカン図書館)

8万点超の手書き文献のデジタルデータを保管・公開

Copyright © Biblioteca Apostolica Vaticana

ASEAN統合デジタルアーカイブ

現代アート作品含む資産の2D・3Dデータを保管・公開

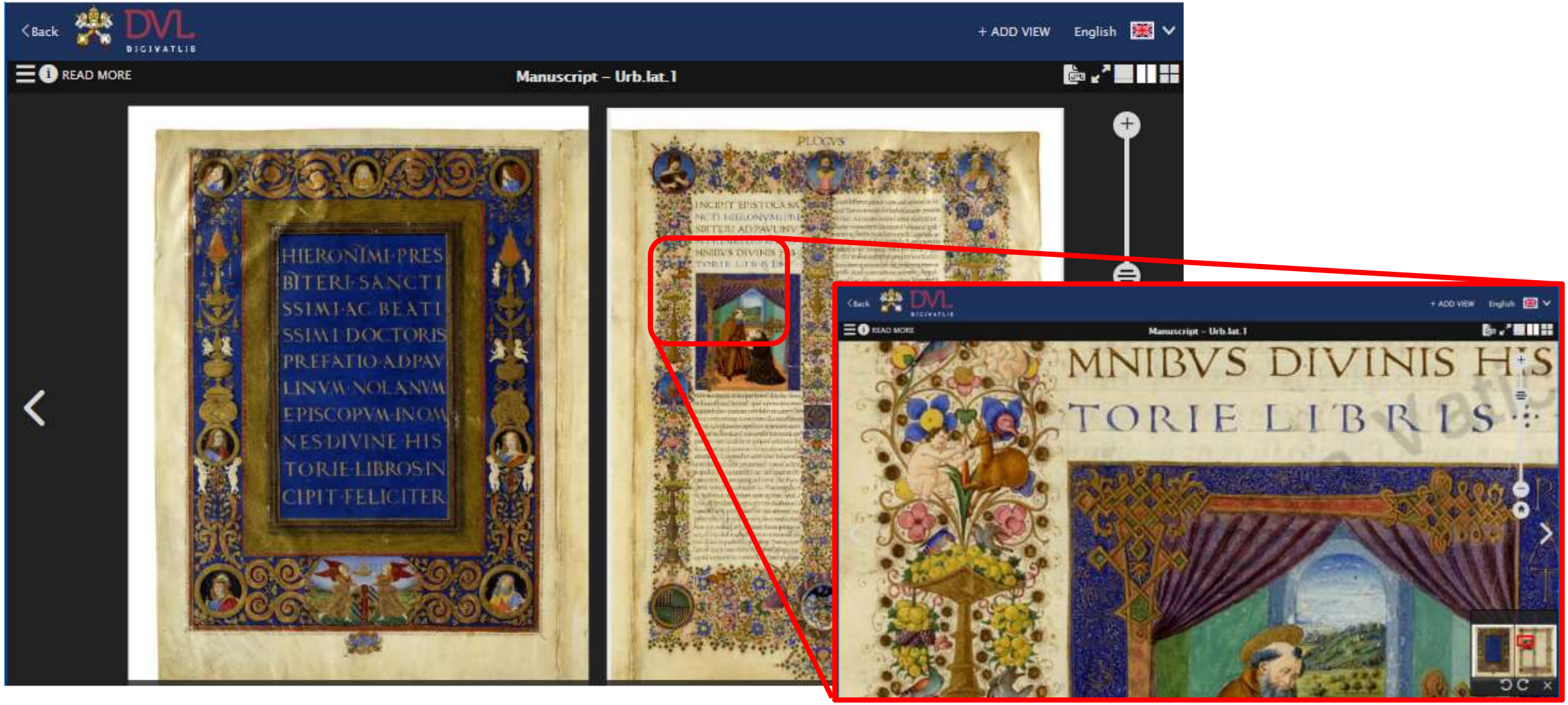
Copyright © Department of Museums Malaysia

1．デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」事例：

バチカン図書館デジタルアーカイブ 「DigiVatLib」

AMLAD

バチカン図書館が保有する8万点超のマニュスクリプト（手書文献）のデジタルアーカイブプロジェクト。
NTTデータは電子化作業とアーカイブサイト「DigiVatLib」の構築・保守を実施。

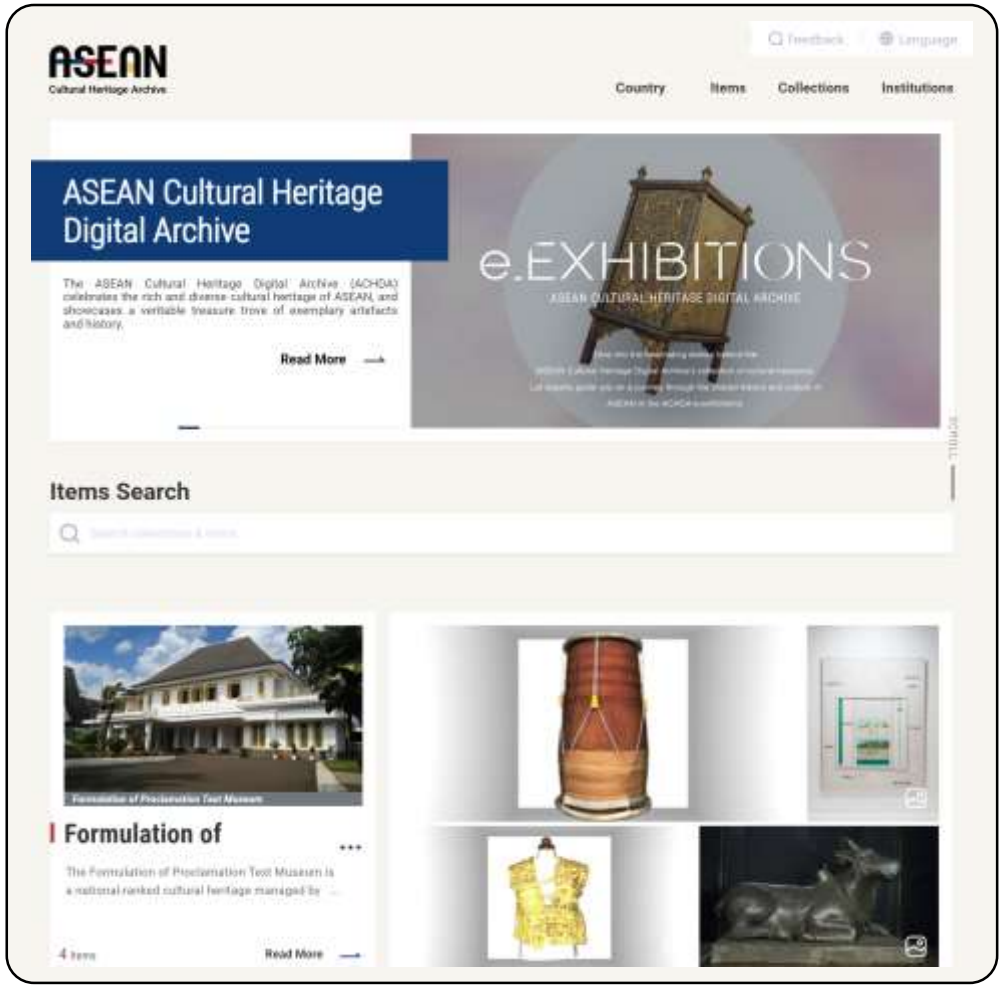


1．デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」事例：
ASEAN統合デジタルアーカイブ「ACHDA」

AMLAD

東南アジア10か国の美術館・図書館・博物館が所有する文化遺産や美術品の電子化と、10か国をまたがるデジタルアーカイブシステムを構築。 2020年公開。現在も各国での電子化を継続中。高精細3Dデータのアーカイブにも対応。

ACHDA トップページ



3Dビューア

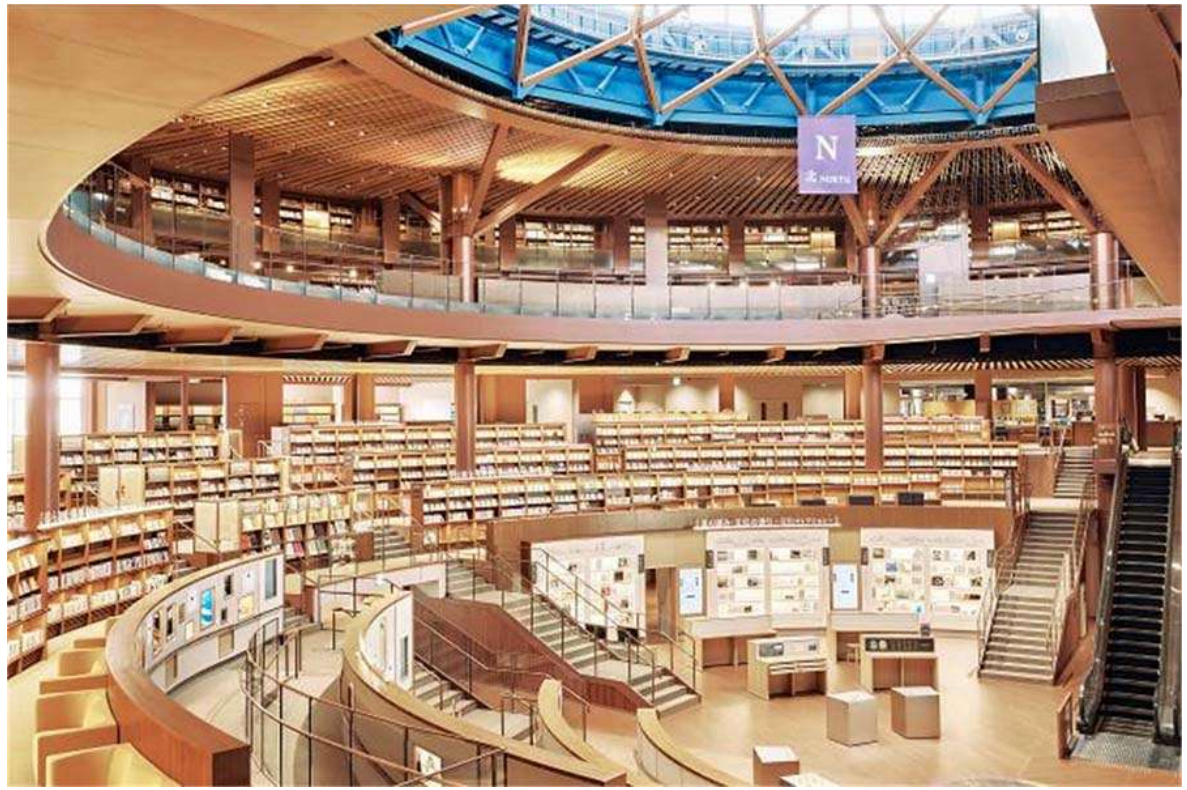
1．デジタルアーカイブ事業「AMLAD®」事例：
石川県立図書館　資料総合検索システム「SHOSHO ISHIKAWA」

AMLAD

石川県立図書館の最新の本・雑誌、古文書や歴史公文書、貴重な古い絵図・図案・写真に加え、書庫に収蔵している資料等とあわせて約100万点以上の資料の統合検索を実現。図書館建物の新築に合わせ、2022年7月サービス公開。

SHOSHO トップページ

新石川県立図書館



里の恵み、文化の香り

石川コレクション

石川県が全国に誇る「里山里海」と「伝統文化」。人と自然が織りなす生物文化多様性に関するアイテム約4万点をピックアップ。

ページを見る

貴重資料を自由自在に楽しめる

デジタルコレクション

江戸時代に描かれた絵図など、当館が時を越えて集めた貴重なお宝を鮮明なデジタル画像でお楽しみください。

ページを見る

ルーツを紐解き、郷土を知ろう

ふるさとコレクション

石川県にまつわる資料や新聞・雑誌記事、歴史的公文書などをまとめたコレクション。郷土の歴史に迫る発見が詰まっています！

ページを見る

ふるさとコレクション

石川県にゆかりのある人物に関する資料などから、いしかわの新たな発見を楽しみましょう。

ふるさとを深堀りする　地名から探す

2. AMLAD Metaverse Initiative構想

2. AMLAD Metaverse Initiative構想

AMLAD

AMLAD事業は、メタバース時代に向けて、デジタルアーカイブによるコンテンツの保存・検索・公開の仕組みの提供に加え、「XRによる新たな体験の提供」「NFT・ブロックチェーンによる新たな流通の仕組みの提供」へとサービスを展開します。

Digital Archive Solution

AMLAD ×

デジタルコンテンツの保全と検索・公開の仕組みを提供

XR **(extended reality)**

デジタルコンテンツの新たな鑑賞体験の提供

NFT & blockchain

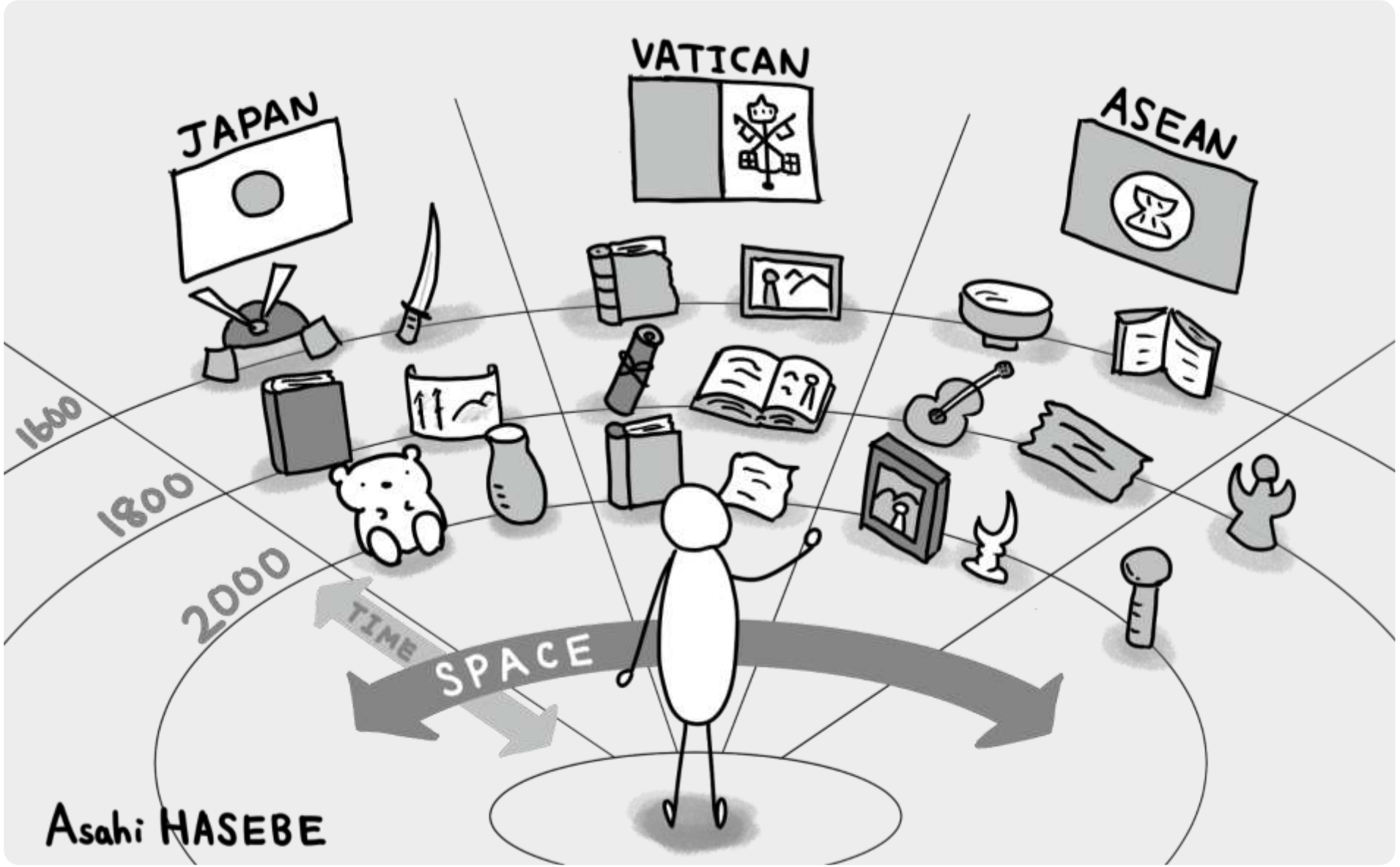
デジタルコンテンツの保護・流通・マネタイズ

3. AMLAD × XR : Virtual Museum コンセプト

AMLAD

世界各地の美術品・文化遺産が一同に会するバーチャルミュージアム構想。

現実世界の置換ではなく、デジタル空間ならではの体験を提供するサービスを指向し、ドバイ万博やバーチャルプレゼンの取組（次ページ参照）を実施。



■ Dubai Expo 2020
（ドバイ万国博覧会）

・バチカン市国の歴史的建造物「Gregorian Tower」の3Dデータ化と、バーチャル空間展示の作成に協力。

・バチカン市国パビリオンはドバイ万博の優秀展示として金賞受賞。

・参考）　NTTデータ　ニュースリリース
バチカン市国の16世紀の天文台「Gregorian Tower」を3Dデジタル化　～ドバイで開催される国際博覧会（Expo 2020 Dubai）で公開～
https://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2021/100801/

**ユーザは手のジェスチャーで画面を操作し、
タワーの中を自由に鑑賞。
コンテンツの解説文も閲覧可能。**

■ NTT DATA Innovation Conference 2022

進化するデジタルアーカイブ～メタバース時代のデジタルコンテンツ活用～ https://youtu.be/GNNUgG9L0zc

・バーチャル空間でのプレゼンを実施　・バチカン・ASEANの3Dコンテンツをバーチャル空間に展示

3. XR バーチャル都市空間　XRコンサルティング～アジャイル開発

AMLAD

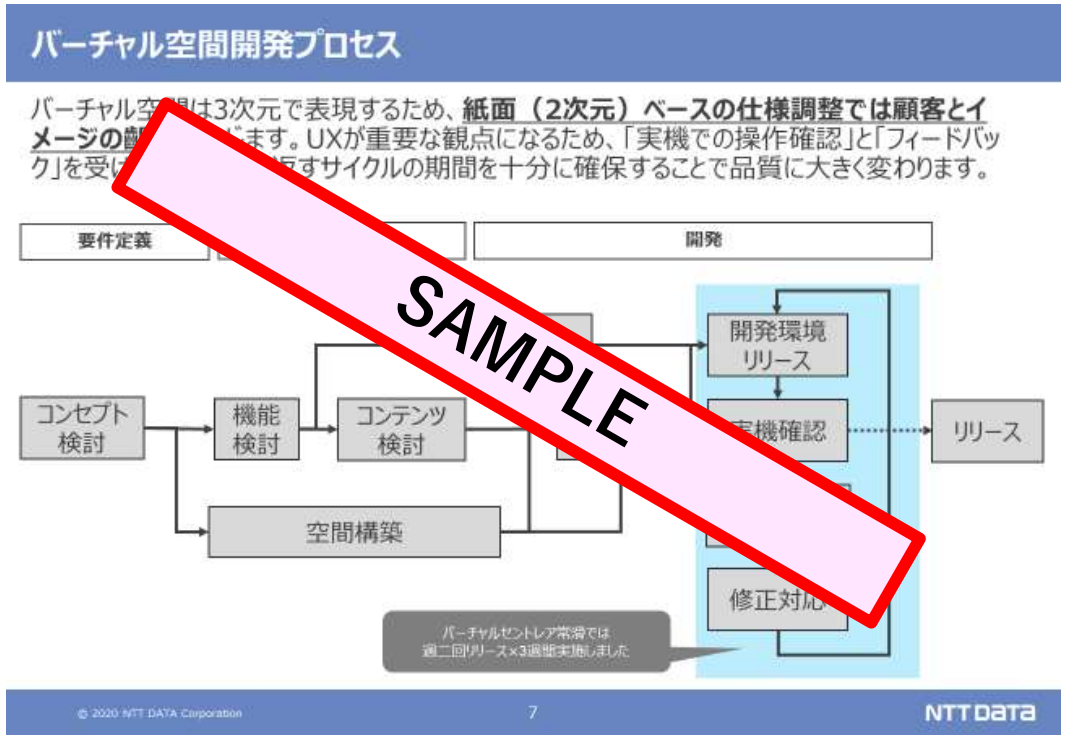
実在の都市・施設をバーチャル空間化し、そこへの集客や価値提供の方法を、実際のユーザ体験会を通して検証。
アジャイル開発により、実機検証～修正を繰り返しながら、抽象的なサービスイメージをバーチャル空間へ具体化した。

抽象コンセプト　～　サービスの具体化

抽象的なコンセプトを元に、バーチャル空間でユーザに提供するストーリーを整理し、具体サービスを開発。

XRサービスのアジャイル開発

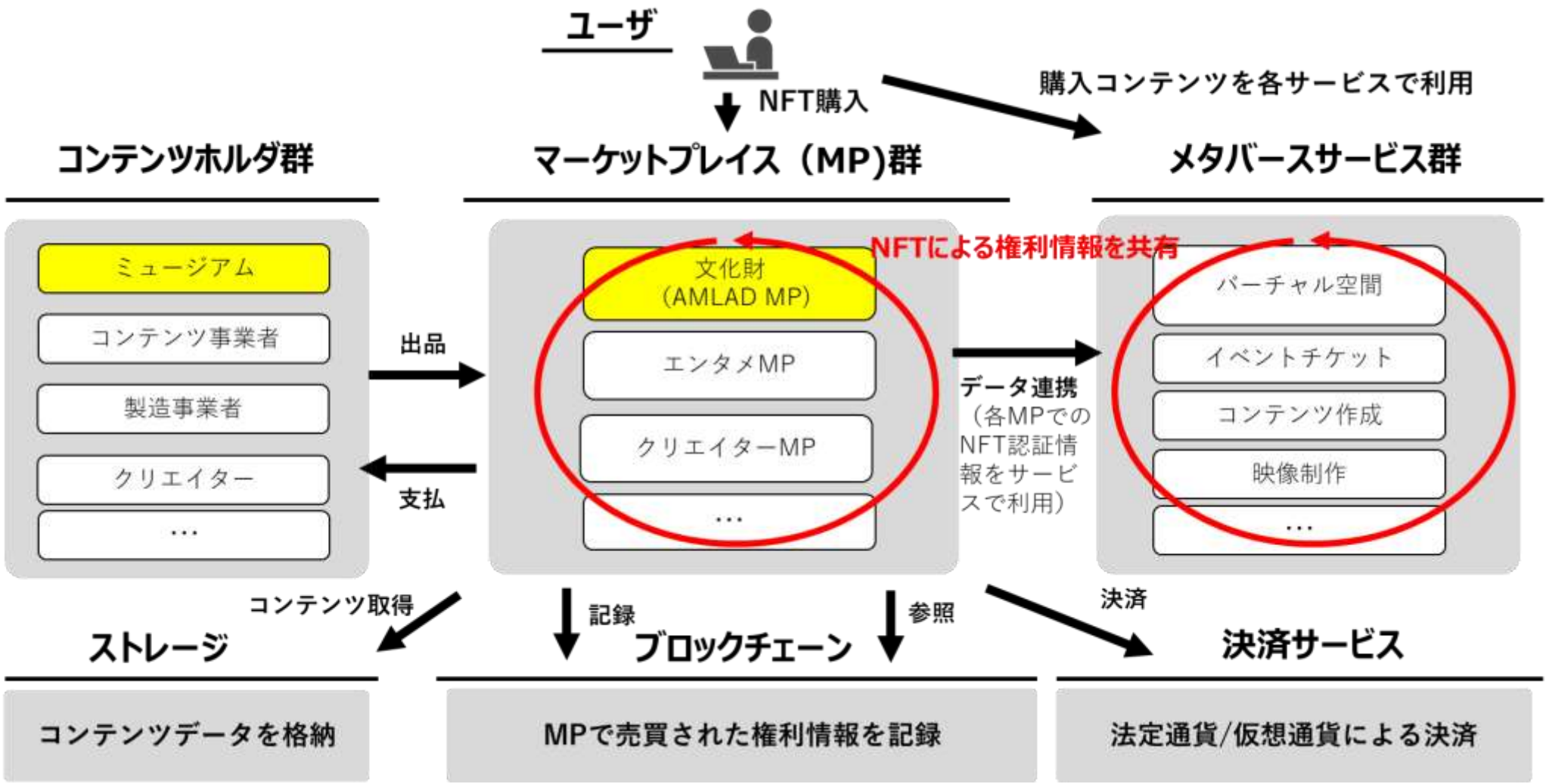
顧客とのスクラムチームによるアジャイル開発の実践



4. AMLAD × NFT構想

AMLAD

デジタルアーカイブ上のコンテンツを流通させ、かつ、様々なメタバースサービス上で権利を保護しながら活用される未来を創る為に、NFTによるコンテンツ保護・流通の仕組みを構築する。



API Gallery

© 2022 API gallery™